SDカード録画機能付バンダルドームカメラ（DC12V）

SD-380V
取扱説明書

DVR BUILT-IN VANDAL DOME CAMERA

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、必要なときに読めるように大切に保管して下さい。

● 安全上のご注意●

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示を使用しています。なお本機は、事件や事故を未然に防ぐものではありませんのでご理解願います。

● 表示マークについて●

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。	⊘	禁止の行為を伝えるものです。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定されます。	!	強制事項の内容を伝えるものです。

⚠ 警告

⊘	取付け場所などを移動するときは、必ず総ての電源を切った状態で線をはずしてから移動して下さい。
⊘	本製品は精密機械ですから分解したり、改造しないでください。故障の原因になります。
⊘	電源コード類を傷つけたり加工したり引っ張らないで下さい。電源コード類が破損し、火災、感電の原因となります。
!	万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合はすぐに電源を切り電源プラグを持ちコンセントを抜いてください。

⚠ 注意

⊘	内部の点検、調整、修理は販売店にご相談下さい。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめ下さい。
⊘	設置工事による事故や障害が生じた場合は当社では責任を負えません。専門技術者による施工をご依頼するようお勧めいたします。
⊘	重いものをのせたりすると本製品が破損し、火災、感電の原因となります。
⊘	ぬれた手で触らないで下さい。感電の原因となります。

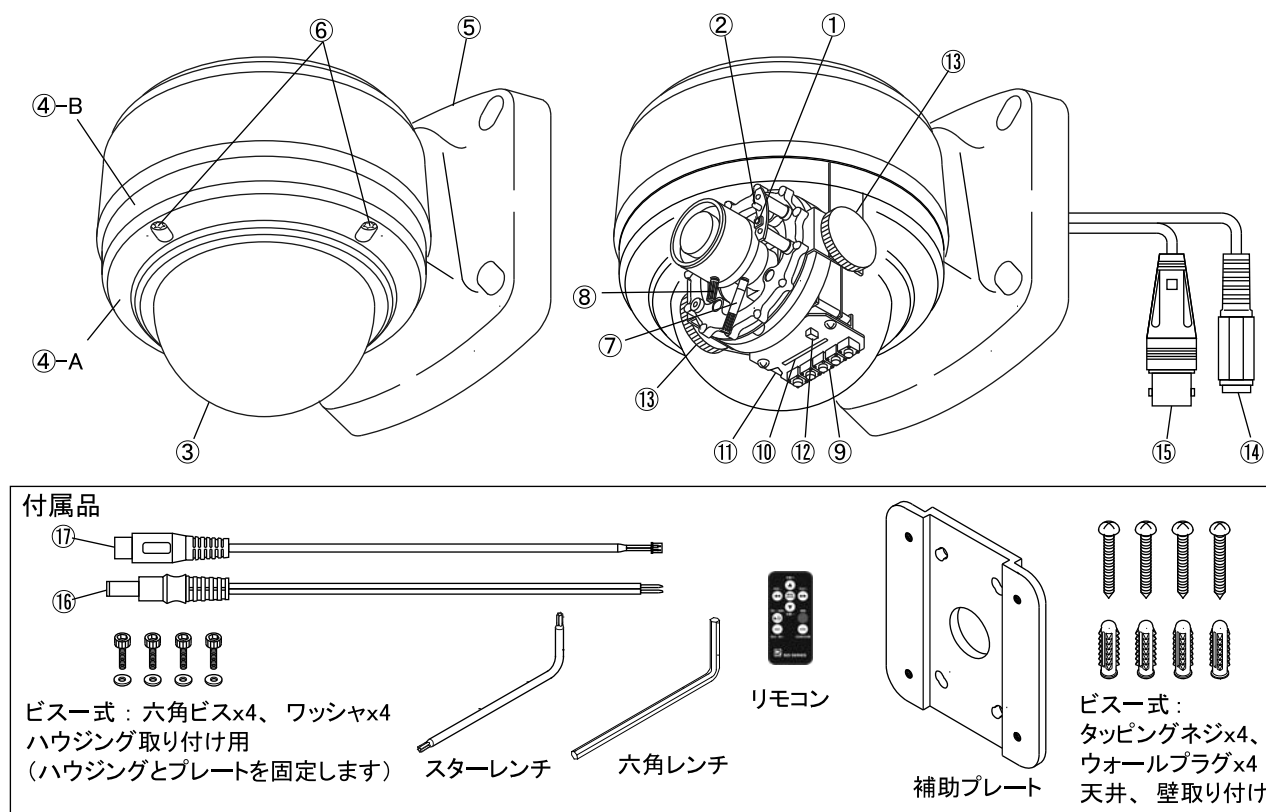
CONTENTS

■ 特長

- IP68 防水型で風雨に強い
- SD カード録画機能付(常時、イベント、スケジュール、手動、上書き） 1GB～128GB対応
- 強化プラスチック防破壊型ドーム、特殊スタービス仕様
- 取り付けはポール、壁面自在（専用ブラケット使用）
- オートアイリスバリフォーカルレンズ内蔵 2.8～10.0mm　F1.4
- 48 万画素でクリアな画像
- 3D-DNR 機能
- 逆光補正機能
- 詳細(輪郭強調補正） 機能
- OSD メニュー機能
- 3 軸方向(XYZ)の各調整自在
- 解像度水平 700TV 本
- フリッカレス機能、逆光補正機能
- 電子感度アップ最大 256 倍
- 補助モニタ出力端子(MONITOR OUT)付
- プライバシーマスク機能

■ 仕様

仕様	
品番	SD-380V
有効画素数	48万画素　976(H) × 494(V)
映像信号方式 / 映像出力	NTSC方式 / 1.0Vp-p　75Ω
解像度 / S/N比	水平700TV本　/　52dB (AGC OFF)
最低被写体照度	0.12LUX　F1.4 (カラー時)、0.0004LUX　F1.4 (S.UP時) 0.012LUX　F1.4 (白黒時)、0.00004LUX　F1.4 (S.UP時)
イメージセンサー	1/3″ CCD
同期方式	内部同期
ホワイトバランス	自動追尾型 / 自動調整型 / AWC / 詳細設定 / 室内 / 屋内
ゲインコントロール	OFF / LOW / MIDDLE / HIGH
デジタルワイドダイナミック	逆光補正メニューで対応
シャープネス/コントラスト	000～031 / ON、OFF (エリア4ヶ所)
プライバシー / 映像反転	ON、OFF (エリア8ヶ所) / 水平、垂直、水平垂直、OFF
逆光補正	DWDR / BLC / HSBLC / OFF
フリッカーレス	シャッター変更にて対応
SMART　3DNR	ON / OFF
レンズ	オートアイリスバリフォーカルレンズ　2.8～10mm (F1.4～360)
画角	水平　97～28.8°、垂直　68.4°～21.6°
OSDメニュー	上、下、左、右カーソルボタン、SETボタン
OSDメニュー言語	16言語
I/O　センサ入力	無電圧接点 (N.O,N.C切替可) x 1
アラーム出力	オープンコレクタ出力 (モーション検出) x 1
録画メディア	SDカード　1GB～32GB(SDHC)、64GB～128GB(SDXC)
解像度/フレームレート	720 x 480/30fps,　320 x 240/30fps
モード	常時、イベント、スケジュール、手動　，上書き、停止
モーション検出	範囲及び感度設定可
再生	再生、早送り、コマ送り、早戻し、コマ戻し、一時停止
スピード	x1/ x2/ x4/ x8/ x16/ x32
電源	DC12V±10%
消費電流	240mA (最大) / 2.9W (最大)
周囲温度	-10℃～50℃
周囲湿度	85% 以下
外形寸法	Φ160×203 (W)×126.5 (H)mm
質量	1500g
入出力端子	映像：BNC-J、電源：DC-J、補助モニタ出力 (MONITOR OUT)：2P
付属品	リモコン×1、ビス一式、DCケーブル (DC-P/2P)×1、 モニタ出力ケーブル、スターレンチ
対応ポールマウント	BR-E801S、BR-E838S

■ 各部の働き

① リモコン受光部 ： リモコンを使用する場合は受光部に向けて操作して下さい。

② DVR 用 LED 表示(赤) ： 録画モード時＝点灯、SD カードエラー時＝点滅、録画停止時＝消灯

③ カメラカバー ： 強化プラスチック防破壊型を仕様。外すには、⑥カバー留めビスを緩めてください。

④ カメラケース ： カメラ部のケースです。ケース A(④-A)と、ケース B(④-B) に分かれています。ケース B は、ハウジングに固定されています。

⑤ ハウジング ： 取り付け面に固定するためのハウジングです。

⑥ カバー留めビス ： 付属のスターレンチで、ビス 4 ヶ所を緩めるとケース B(④-B)と、カバーをケース A(④-A)より外せます。

⑦ フォーカス調整ノブ ： N：NEAR にまわすと至近側、 ∞：FAR にまわすと至遠側になります。

⑧ ズーム調整ノブ ： T：TELE にまわすと画角は狭くなり、W：WIDE にまわすと画角は広くなります。

⑨ OSD メニュー設定ボタン ： OSD メニュー設定時使用します。（P.6 参照です。）

⑩ SD カードスロット ： SD カードを挿入します。（P.15 参照です。）

⑪ アラーム OUT/IN 端子 ： 端子にセンサを接続するとセンサ反応時に録画が開始します。

⑫ 補助モニタ出力端子 (MONITOR OUT) ： 付属の補助モニタ出力ケーブル(RCA-J/2P) ⑰を接続してカメラの画角、ピント調整をします。 調整後はケーブルを外してください

⑬ 垂直アングル固定ツマミ ： 固定がゆるい場合はツマミを時計方向に回して締めて下さい。

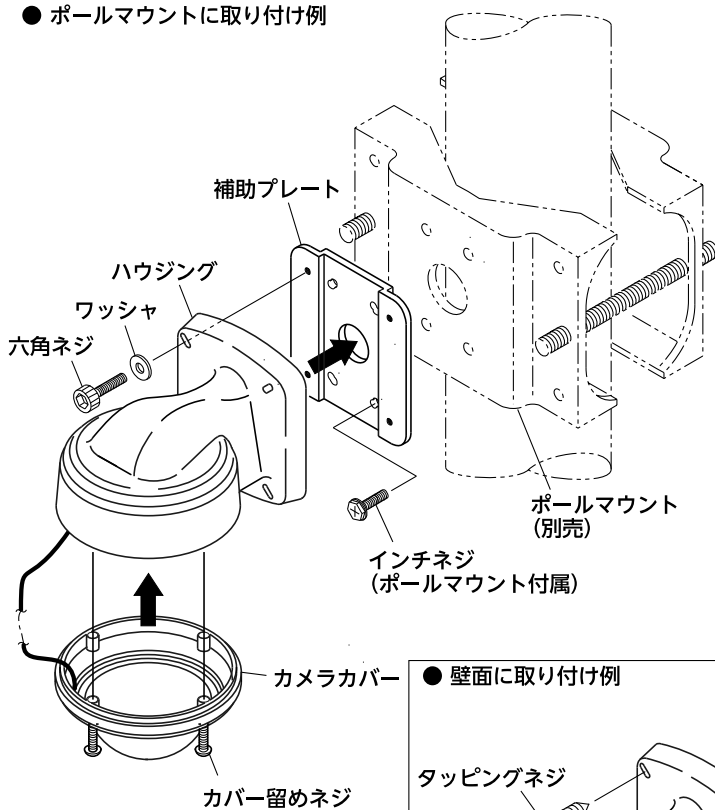
⑭ 電源入力端子(DC-J) ： DC12V 電源を接続します。(その場合付属の DC ケーブル⑯を使用すると便利です。)

※ 重畳型の場合接続しないでください。 併用使用はできません。

⑮ 映像出力端子(BNC-J) ： DVR, モニタ等 VIDEO 入力端子に接続します。

⑯ 付属 DC ケーブル(DC-P/2P)

⑰ 付属補助モニタ出力ケーブル(RCA-J/2P)

■ 取り付け方

A-1. ポールマウントに固定する場合

1. 付属のスターレンチでカメラカバーを外してください。
2. ポールマウントに補助プレートをポールマウントに付属するインチネジで固定してください。
3. 補助プレートを固定後、ハウジングを補助プレートに六角ビス、ワッシャで固定してください。

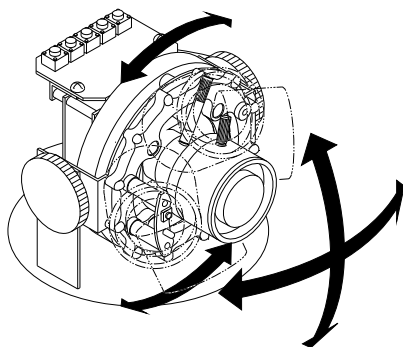
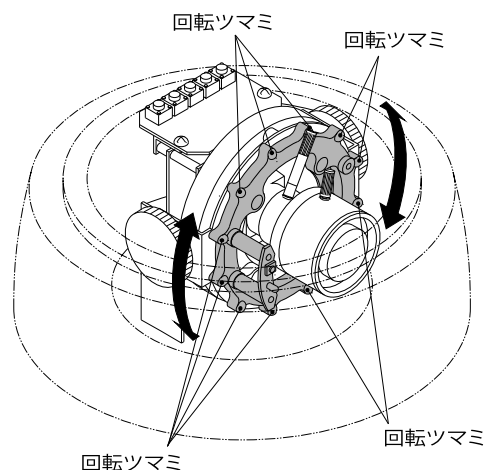
A-2. 壁面に固定する場合

1. 付属のスターレンチでカメラカバーを外してください。
2. ハウジングを付属のタッピングネジで固定してください。
   コンクリート等に取り付ける場合はウォールプラグをご使用ください。

B. ハウジングを固定後

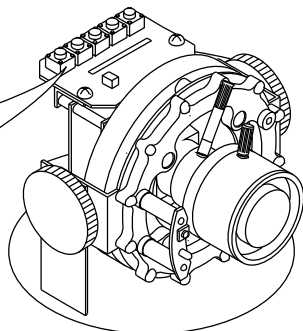
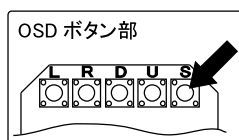
1. レンズの垂直アングル固定ツマミを回して監視したい方向に向けます。
   回転する場合はレンズを持たずに回転ツマミを持って回して下さい。
   方向が決まったらツマミをしっかり締めて下さい。
2. カメラの画角及びフォーカスを調整し、調整後はノブをしっかり締めて下さい。
   全ての調整が終了後、付属のスターレンチでカメラカバーを取り付けます。

【3 軸方向調整機能】

カメラの3軸方向(XYZ)の各調整が、簡単に出来る
３軸方向調整機能搭載により、設置時の画角調整
などが容易に行えます。

レンズを水平方向に回転する場合はレンズを持たずに、回転ツマミを持って回してください。

■OSD メニューの説明

メインメニュー

OSD の出荷時設定は、P.23 カメラ OSD メニュー出荷時設定一覧の様になっております。設定値を変更する場合は下記の説明をお読み下さい。

◆ メニューの種類と内容

Ⓢ ： メニュー画面表示、及び決定
Ⓤ: カーソルを上へ移動
Ⓓ ： カーソルを下へ移動
Ⓡ ： カーソルを右へ移動、又は数値を上げる
Ⓛ ： カーソルを左へ移動、又は数値を下げる

カメラの全般的な機能の設定を行ないます。ⓊⒹⓁⓇボタンを使用してメニュー項目を選択してください。

MAIN MENU

1. レンズ	DC⏎
2. 露出	⏎
3. BACKLIGHT	OFF
4. ホワイト・バランス	自動追尾型
5. デイ・ナイト	EXT⏎
6. SMART 3DNR	ON⏎
7. F-DNR	OFF
8. FUNCTION	⏎
9. EXIT	SAVE⏎

1. レンズ ： 使用するレンズを選択します。 (設定方法は、P. 6 です。)
2. 露出 ： シャッター、AGC などの設定をします。 (設定方法は、P. 7 です。)
3. BACKLIGHT ： バックライト（逆光補正）に関する設定を行います。 (設定方法は、P. 7 です。)
4. ホワイト・バランス ： 色合いに関する設定を行います。 (設定方法は、P. 8 です。)
5. デイ・ナイト ： 周囲条件の明るさに関連する設定を行います。 (設定方法は、P. 9 です。)
6. SMART 3DNR ： ノイズリダクションに関する設定を行います。 (設定方法は、P. 10 です。)
7. F-DNR ： 霧に対するノイズリダクションの設定を行います。 (設定方法は、P. 10 です。)
8. FUNCTION ： モーション/プライバシー・ゾーンなどの設定を行います。 (設定方法は、P. 11 です。)
9. EXIT ： RESET、CANCEL、SAVE を各選択して設定を終了します。
- RESET⇒出荷時設定に戻して設定を終了します。 (P. 23 参照です。)
- CANCEL⇒保存せずに設定を終了します。
- SAVE⇒設定を保存して終了します。

1. レンズ：DC、マニュアル

レンズの種類を選択します。 ⓁⓇで DC、マニュアルを選択する事ができます。 DC は、DC 駆動自動アイリスレンズ使用時に選択します。 マニュアルは、絞り固定／手動アイリスレンズ使用時に選択します。

◆ DC レンズ

DC を選択した時、SETUP を押すと、DC レンズの調整画面になります。

DC レンズ

1. 輝度	50
2. IRIS SPEED	8
3. 戻る	RET⏎

1. 輝度
全体的な輝度の調整をします。 Ⓡボタンで輝度が上がりⓁボタンで輝度が下がります。

2. IRIS SPEED
応答速度の調整をします。 応答速度がⓇボタンで速くなりⓁボタンで遅くなります。

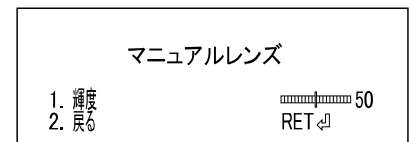
3. 戻る
この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ マニュアルレンズ

マニュアルを選択した時、SETUP を押すと、マニュアルレンズの調整画面になります。

マニュアルレンズ

1. 輝度　50
2. 戻る　RET⏎

1. 輝度

全体的な輝度の調整をします。 Ⓡボタンで輝度が上がりⓁボタンで輝度が下がります。

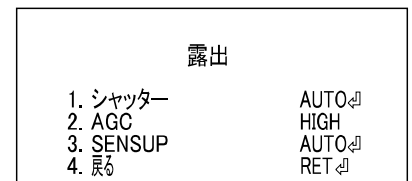
2. 戻る

この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

2. 露出

周囲条件の明るさの変化に対して、画面の明るさが一定となる様に、
シャッター、AGC、SENSUP に関する設定を行います。

露出

1. シャッター　AUTO⏎
2. AGC　HIGH
3. SENSUP　AUTO⏎
4. 戻る　RET⏎

2-1 シャッター：AUTO、FLK、MANUAL、1/60

シャッターメニューでは、電子シャッターの速度を設定します。

- **AUTO**

  シャッター速度を、1/60～1/100000 の範囲でカメラが自動的に最適値に設定します。
- **FLK**

  シャッター速度は 1/100 秒に固定されます。 これにより垂直同期周波数と照明の明滅の周波数の不整合による画面のちらつきを防ぐことが可能です。
- **MANUAL**

  シャッター速度をお好みに合わせて任意の値に設定出来ます。 動きの速い被写体を撮影する場合や夜間動きの少ない被写体をノイズの少ない状態で撮影したい場合などに有効です。 設定値は、1/60、FLK(1/100)、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/5000、1/10000、1/20000、1/50000、1/100000、x2、x4、x6、x8、x10、x12、x14、x16、x24、x32、x64、x128、x256 です。
- **1/60**

  シャッター速度は 1/60 秒に固定されます。
- **戻る**

  この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

2-2 AGC：HIGH、MIDDLE、LOW、OFF

AGC（オートゲインコントロール）のレベルを設定します。 シャッター値を変えずに明るさを変えることができます。

※　デイ･ナイトの設定がAUTOの場合は、OFFの設定は出来ません。

2-3 SENSUP：AUTO、OFF

画像の明るさを保つため、蓄積時間（シャッター時間）を伸ばして被写体を明るくすることができます。

- **AUTO**

  設定値は、x2、x4、x6、x8、x10、x12、x14、x16、x24、x32、x64、x128、x256 です。
- **OFF**

  蓄積モードを OFF にします。

[注] AGC の設定が OFF の場合は、SENSUP 設定は実行出来ません。

- **戻る**

  この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

3. BACKLIGHT：DWDR、BLC、HSBLC、OFF

強い逆光で普通のカメラを使用すると、逆光の影響によりモニタ上では被写体が暗く表示されます。この問題の解決のため、BLC（Back Light Compensation：逆光補正）機能を使用して強いコントラストの場面を見やすく改善します。

◆ DWDR：LOW LEVEL、HIGH LEVEL

DWDR(デジタルワイドダイナミックレンジ)機能は、暗い画面と明るい画面を処理して暗い画面を明るく、明るい画面を暗くしてちょうど良い明るさの画面を作り出して、逆光補正を行います。

1. LOW LEVEL
暗い部分の輝度の調整をします。 暗い部分が、Ⓡボタンで明るくⓁボタンで暗い画面となります。 (設定値は 0～15 です。)

2. HIGH LEVEL
明るい部分の輝度の調整をします。 数字が大きいほど明るい部分を明るくするため相対的に暗い部分が、Ⓡボタンで暗く明るい画面となります。
(設定値は 0～15 です。)

3. 戻る
この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

DWDR
1. LOW LEVEL 5
2. HIGH LEVEL 3
3. 戻る RET⏎

◆ BLC：VALUE、AREA、DEFAULT

BLC を選択した場合、BLC エリアを設定する事が出来ます。 BLC 機能は画面内の指定した部分の明るさを基準に明るさを補正する事が出来ますので、被写体を最適な明るさで撮影する事が出来ます。
エリアは、2 ヶ所まで設定する事が出来ます。

1. VALUE
効果の度合いを、HIGH、MIDDLE、LOW より設定します。

2. AREA
エリアの設定をします。 エリアの設定を 2 ヶ所行う事が出来ます。 2 ヶ所設定する場合は、1ヵ所目を設定後、AREA の項目で、ⓁⓇボタンで SINGLE→DOUBLE に変更するともう一つ別の四角形が表示されますので同様に、POSITION、SIZE の設定を行います。(設定方法は、P. 14 です。)

3. DEFAULT
設定を初期状態に戻します。

4. 戻る
この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ HSBLC：ゲイン、MODE、MASK LEVEL、DEFAULT、M. SKIP AREA

HSBLC(ハイライト抑制逆光補正)は設定されたエリア内で強い光を放つ部分にマスクする事で、他の部分への影響を軽減させる事が出来ます。 車のヘッドライトなど、強い光が画面内に入ってくる場所での撮影に有効です。

1. ゲイン
ゲインの設定を行います。 (設定値は 0～100 です。)

2. MODE
動作条件を設定します。 NIGHT ONLY は夜間のみ動作し、一日中動作します。

3. MASK LEVEL
マスクをかける輝度レベルを設定します。 数値が大きいほどマスク機能が有効となるため、低い輝度でもマスクがかかります。 (設定値は 0～100 です。)

HSBLC
1. ゲイン 50
2. MODE NIGHT ONLY
3. MASK LEVEL 70
4. DEFAULT ⏎
5. M. SKIP AREA OFF
6. 戻る RET⏎

4. DEFAULT
設定値を初期状態に戻します。

5. M. SKIP AREA
設定を ON にすると、マスクエリアを設定することが出来ます。 (設定方法は、P. 14 です。)

6. 戻る
この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ OFF

BACKLIGHT の機能を OFF します。

4. ホワイト・バランス：自動追尾型、自動調整型、AWC、詳細値設定、室内、室外

屋内や屋外、電球、夕日など、撮影場所の環境により色温度がそれぞれ異なり、肉眼で白色に見えてもカメラでは不自然な色で映る時があります。 ホワイト・バランスは、それらを改善するために様々な環境下で、より白色に映るよう補正を行う機能です。

◆ 自動追尾型 （オートトラッキング・ホワイト・バランス）

カメラは周囲条件に応じてリアルタイムに自動的に色温度を調整します。 通常はこのモードを使用します。

◆ 自動調整型 （オート・ホワイト・バランス）

カメラは周囲条件に応じてリアルタイムに自動的に色温度を調整します。 ATW モードより補正範囲が広くなりますが、薄い色が白くなることがあります。

◆ AWC→SET

白い被写体を画面全体に撮影した状態で SETUP ボタンを押すと、その時点での最適なオート・ホワイト・バランスに設定します。 光源が変化しない場所での撮影に適しています。

◆ 詳細値設定：青、赤

手動で色温度を設定します。

詳細値設定
1. 青 26
2. 赤 23
3. 戻る RET

1. 青
青色の濃さの調整をします。 値が大きいほど青みが強くなり、小さいほど黄色となります。(設定値は 0～100 です。)

2. 赤
赤色の濃さの調整をします。 値が大きいほど赤みが強くなり、小さいほど薄青色となります。(設定値は 0～100 です。)

3. 戻る
この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ 室内

色温度を室内用の設定に固定します。

◆ 室外

色温度を室外用の設定に固定します。

5. デイ・ナイト：AUTO、EXT、B/W、カラー

周囲条件を自動的に判断し、昼間はカラーカメラとして動作し（デイモード）、夜間では白黒カメラに切換わり感度を上げて動作する（ナイトモード）ことが出来ます。

◆ AUTO：DELAY、D→N (AGC)、N→D (AGC)

明るさの状態に応じて、カメラは自動的にデイとナイトモードを切り換えます。

D&N AUTO
1. DELAY 1
2. D→N (AGC) 210
3. N→D (AGC) 40
4. 戻る RET

1. DELAY
デイ/ナイトの切り換え時間です。 値が大きいほど切り換え時間は長くなります。 (設定値は 0～15 です。)

2. D→N（AGC）
デイ→ナイトへの切り換える AGC のレベルを設定します。 値が大きいほど暗い状態で切り換わります。(設定値は 16～240 です。)

3. N→D（AGC）
ナイト→デイへの切り換える AGC のレベルを設定します。 値が大きいほど暗い状態で切り換わります。(設定値は 0～224 です。)
※ D→N（AGC）の値は、誤動作を防ぐため N→D(AGC)の値より+16 以上の数値となります。

4. 戻る
この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ EXT：DELAY

※ 本機は EXT モードでは使用できません。

外部よりデイとナイトモードを切り換えます。

D&N EXT
1. DELAY 1
2. 戻る RET

1. DELAY
デイ/ナイトの切り換え時間です。 値が大きいほど切り換え時間は長くなります。 (設定値は 0～15 です。)

2. 戻る
この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ B/W：バースト、IR SMART、IR LED

周囲条件に関わらずナイトモードに固定されます。

D&N B/W
1. バースト OFF
2. IR SMART ON
3. IR LED ON
4. 戻る RET

1. バースト
映像出力のバースト信号をオン/オフします。 モニタ画にカラーノイズなどがある場合、オフする事で見やすくなります。

2. IR SMART

赤外線 LED に対する見易さを変更します。 ON にすると右下図のメニューが表示されます。

3. IR LED

赤外線 LED をオン/オフします。

※ 本機では、ここでの機能は使用していません。

4. 戻る

この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

IR SMART モードの設定

1. VALUE

赤外線 LED の照射に対するゲインです。 値が大きいほど明るくなります。
(設定値は 0～100 です。)

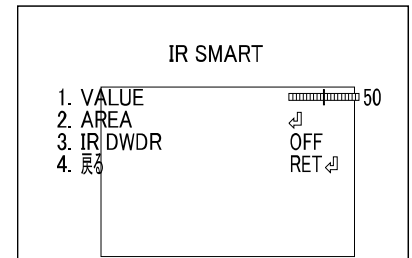
2. AREA

観測する被写体のエリアを設定します。 (設定方法は、P. 14 です。)

3. IR DWDR

暗い画面と明るい画面を処理して暗い画面を明るく、明るい画面を暗くして
ちょうど良い明るさの画面にします。

4. 戻る

この設定を終了します。RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ カラー

周囲条件に関わらずデイモードに固定されます。

6. SMART 3DNR：ON、OFF

DNR(デジタルノイズリダクション)の設定が出来ます。 映像に現れたノイズをデジタル処理により低減します。
従来の3DNR 機能に比べてスマート3DNR 機能は、低照度時に発生するノイズに対して有効で、また動きに
対しても従来の3DNR に比べて残像の発生を軽減します。

◆ ON：VALUE、SMART NR、SMART LEVEL、SENSITIVITY

SMART 3DNR の設定をします。

1. VALUE

従来の3DNR のノイズ低減量の設定です。

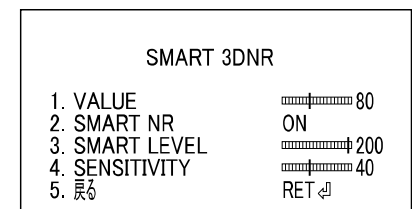
2. SMART NR

SMART NR の ON/OFF の設定です。

3. SMART LEVEL

SMART 3DNR のノイズ低減量の設定です。

4. SENSITIVITY

動きに対する感度の設定です。

◆ OFF

SMART 3DNR の機能を OFF します。

7. F-DNR：AUTO、MANUAL、OFF

霧が立ち込めて画面全体にモヤがかかった様な状態の時に、画像処理により改善する機能を持った DNR です。

◆ AUTO：DETECT LEVEL

設定を自動で行います。

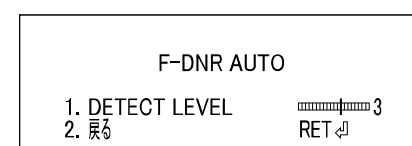
F-DNR AUTO

1. DETECT LEVEL 3
2. 戻る RET

1. DETECT LEVEL

F-DNR が動作を行う検出レベルの設定です。 (設定値は 0～5 です。)

2. 戻る

この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ MANUAL：LEVEL、COLOR GAIN、EDGE GAIN、GAMMA

設定を手動で行います。

SMART 3DNR

1. LEVEL 10
2. COLOR GAIN 3
3. EDGE GAIN 3
4. GAMMA 0.55
5. 戻る RET⏎

1. LEVEL
輝度信号レベルの設定です。 (設定値は 0～31 です。)

2. COLOR GAIN
カラー信号レベルの設定です。 (設定値は 0～10 です。)

3. EDGE GAIN
画面の鮮明度を設定します。 (設定値は 0～10 です。)

4. GAMMA
画面の明暗の見えやすさを設定します。 (設定値は 0.05～1.00（0.05 ステップ）です。)

5. 戻る
この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。
※　画像処理による補正ですので撮影条件によっては実際の画像に比べ鮮明に再現されない場合があります。

◆ OFF

F-DNR の機能を OFF します。

8. FUNCTION：ﾓｰｼｮﾝ、ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ･ｿﾞｰﾝ、D-EFFECT、調整、COMM ADJ、SYNC、言語

モーションやプライバシー・ゾーン設定などその他の機能に関する設定です。

1. モーション
モーションに関する設定です。

2. プライバシー・ゾーン
プライバシー・ゾーンに関する設定です。

3. D-EFFECT
手ブレ補正、反転などに関する設定です。

4. 調整
画質、モニタ、レンズなどに関する設定です。

5. COMM ADJ
カメラタイトル、通信などに関する設定です。

6. SYNC
内部同期の表示です。

7. 言語
メニュー言語の設定です。

8. 戻る
この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

8-1 モーション：ON、OFF

撮影画面内に動き（モーション）があった時に、その変化を検出する機能です。 検出するエリアを4つまで設定することが出来ます。

◆ ON：エリア、AREA DISPLAY、VALUE、MOTION VIEW

モーションに関する設定をします。

1. エリア
設定を行うエリア（1～4）をⓁ Ⓡボタンで選択します。 選択されたエリアは、画面上点滅します。

2. AREA DISPLAY
このエリアを有効/無効を設定します。 ON でこのエリアは有効となります。SETUP ボタンを押すとエリアの設定画面になります。
OFF でこのエリアは無効となります。

3. VALUE
モーション検出の感度です。 数値が大きいほど小さな動きに対しても検出を行なうようになります。

4. MOTION VIEW
画面上に動きを検出したポイントを表示するかどうかの設定です。 検出した箇所が、黄色で表示されます。
ON で表示、OFF で非表示となります。

5. 戻る

この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ OFF

モーション検出を OFF します。

8-2 プライバシー・ゾーン：ON、OFF

プライバシー機能は、監視中指定されたプライバシー・ゾーンにマスクをかけることによりプライバシーを守る事ができます。 プライバシー・ゾーンは最大8つまで指定できます。

◆ ON：エリア、AREA DISPLAY、カラー、TRANSPAR

プライバシー・ゾーンに関する設定をします。

1. エリア

設定を行うエリア（1～8）をⓁⓇボタンで選択します。
選択されたエリアの四角形の各頂点 4 色のポインターが表示されます。
（右図では、左下の四角形です。）

2. AREA DISPLAY

このエリアを有効/無効を設定します。 ON でこのエリアは有効となります。 SETUP ボタンを押すとエリアの設定画面になります。
左上→右上→左下→右下→全体の位置の順に設定を行います。
決定する場合は [RET]、再度設定を行う場合は[AGAIN]を選択します。
OFF でこのエリアは無効となります。

3. カラー

マスクの色を設定します。 (設定値は、0～15 です。)

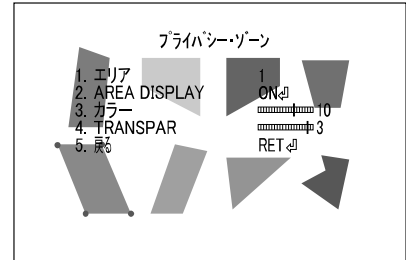
4. TRANSPAR

マスクの透過度を設定します。 (設定値は、0～3 です。)

5. 戻る

この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

◆ OFF

プライバシー・ゾーンを OFF します。

8-3 D-EFFECT (デジタルエフェクト)：DIS、ミラー、ネガティブイメージ

手ブレ補正、ビデオ出力の反転などの設定をします。

```
D-EFFECT

1. DIS              OFF
2. ミラー           OFF
3. ネガティブイメージ OFF
4. 戻る             RET⏎
```

1. DIS

DIS(デジタルイメージスタビライザ：手ブレ補正)の有効/無効の設定を行います。 手ブレ補正は振動に対する補正を行います。
カメラを電柱やポールに設置したときに有効な機能です。
※ 手ブレ補正を ON に設定すると、画面が少し拡大されます。

2. ミラー

ビデオ出力を水平、垂直又は両方に対して反転して出力します。
ミラー：左右反転、V-FLIP：上下反転、ROTATE：左右上下反転

3. ネガティブイメージ

写真フィルムの様に、ネガポジ反転します。

4. 戻る

この設定を終了します。 RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

8-4 調整：シャープ、MONITOR、LENS SHADING、DEFECT

接続するモニタやレンズなどに関する設定を行います。

```
調整

1. シャープ         20
2. MONITOR         CRT⏎
3. LENS SHADING    OFF
4. DEFECT          ⏎
5. 戻る            RET⏎
```

1. シャープ

モニタ画面の輪郭を強調しシャープに見える補正を行います。
画像によってはノイズが目立つ場合があります。
(設定値は 0～31 です。)

2. MONITOR

接続するモニタの種類を CRT 又は LCD より選択します。

■ **CRT (ブラウン管)の場合**

1. **PED LEVEL**（ペデスタルレベル）:黒色の基準となるレベルを設定します。(設定値は 0〜63 です。)
2. **COLOR GAIN**（カラーゲイン）:色の濃さを設定します。(設定値は 0〜255 です。)

■ **LCD (液晶)の場合**

1. **GAMMA**（ガンマ）:画面全体を見やすくするためのガンマ補正の値です。(設定値は 0.05〜1.00 です。)
2. **PED LEVEL**（ペデスタルレベル）:黒色の基準となるレベルを設定します。(設定値は 0〜63 です。)
3. **COLOR GAIN**（カラーゲイン）:色の濃さを設定します。(設定値は 0〜255 です。)

3. LENS SHADING

レンズシェーディング補正の有効/無効の設定を行います。レンズシェーディング補正は、レンズの中心部に比べて周辺部が暗くなるレンズ特性を補正します。

3-1. **LEVEL**:補正をかけるゲインの値です。(設定値は 0〜60 です。)
3-2. **H-CENTER**:水平方向に対する中心部のレベルを設定します。(設定値は 0〜255 です。)
3-3. **V-CENTER**:垂直方向に対する中心部のレベルを設定します。(設定値は 0〜255 です。)

4. DEFECT

CCD キズ補正の有効/無効の設定を行います。

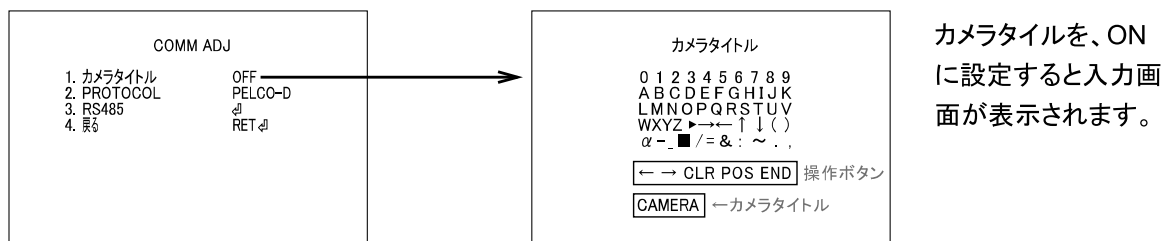
4-1. **SENSUP**:設定値は x4、x8、x16、x32、x64、x128 です。
4-2. **DIFF**:設定値は 0〜3 です。
4-3. **THRESHOLD**:設定値は 1〜4 です。
4-4. **START**:上記を設定後、SETUP を押すと"COVER THE LENS THEN PRESS ENTER KEY"と表示されますので、レンズカバーをして、再度、SETUP を押すと、補正がかかります。

5. **戻る**

この設定を終了します。RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

8-5 COMM ADJ:カメラタイトル、PROTOCOL(プロトコル)、RS485

カメラタイトルや他機器と通信を行う場合の設定をします。

カメラタイルを、ON に設定すると入力画面が表示されます。

1. カメラタイトル

カメラに固有の名前を割り当てることができます。表示したい文字を選択して SETUP ボタンを押して、カメラタイトルを作成します。選択された文字はゆっくり点滅しています。

操作ボタンの使い方

←→ : カメラタイトルで、追加や修正したい文字がある場合、その位置までカーソルを移動します。
CLR : カメラタイトルを消去します。
POS : カメラタイトルを表示する位置を設定します。POS を選択し、SETUP を押すとカメラタイトル画面からカメラ画面になります。ⓊⒹⓁⓇボタンでカメラタイトルを表示したい位置を設定します。SETUP を押すと、カメラタイトル画面に戻ります。
END : カメラタイトルを終了します。

2. PROTOCOL

他機器と通信を行う際の仕様です。（PELCO-D、PELCO-P、SPD-S、DONGYANG、NICP に対応します。）

3. RS485

RS485 はシリアル通信の規格の一つで、他機器と通信を行う場合の条件について設定します。

3-1. カメラ ID:通信を行う際、他の機器と区別するための識別番号です。(設定値は 1〜255 です。)
3-2. ID 表示:ON にすると映像出力に ID 番号が表示されます。
3-3. 通信速度:通信速度の設定です。（設定値は、2400、4800、9600、19200、38400、57600 です。）
※ 本機では、他機器との通信には対応していません。

4. 戻る

この設定を終了します。RET で前のメニューに戻り、SAVE&END で設定値を保存し設定を終了します。

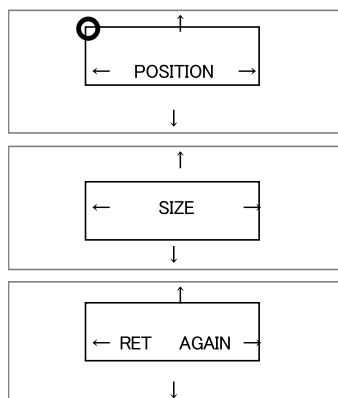
8-6 SYNC：INT

同期信号は内部同期信号を使用しています。

8-7 言語：日本語

メニューの表示言語の設定をします。16 言語に対応しています。日本語で使用して下さい。

9. エリアの設定方法

BLC、HSBLC、IR SMART などの設定で、画面内のエリアを設定する場合の操作方法です。

1. AREA↵ の項目で、SETUP を押すと左図の様な、POSITION 設定画面になります。 画面に現れる四角形の左上のポイントが、設定したいエリアの左上の位置となる様に、 ⓊⒹⓁⓇボタンで設定します。
2. 位置が決定したら、SETUP を押すと SIZE 設定の画面となりますので、ⓊⒹⓁⓇボタンで設定したいエリアとなる様にサイズを調整します。
3. SETUP ボタンを押すと、RET AGAIN と表示されます。エリアの設定が問題なければ、RET でエリアの設定は終了します。 もう一度、設定をやり直す場合は、AGAIN を選択し、設定をやり直します。

10. リモートコントローラ、レコーダの説明

本レコーダの設定はすべてリモートコントローラで行います。

図 1. リモートコントローラ

表 1. リモートコントローラ機能一覧

ボタン	機能
再生・一時停止 ▶/II	ライブ画面時：録画再生画面へ移動 録画再生時：再生、一時停止
戻る・停止 ESC	メニュー設定時：前画面へ戻る 手動録画時：録画停止 録画再生時：前画面へ戻る
録画	ライブ画面時：手動録画開始 録画検索時：10 ファイル送り
OSD 表示切替 OSD	ライブ画面時：OSD 表示、非表示切替 録画検索時：10 ファイル戻し
MENU ENTER	ライブ画面時：メニュー画面に移動 メニュー画面：サブメニュー画面へ進む
音量+ ▲	ライブ画面時：音量アップ メニュー画面：上に移動 録画検索時：日付選択 録画再生時：音量アップ ※本機では音量アップは未対応です。
音量- ▼	ライブ画面時：音量ダウン メニュー画面：下に移動 録画検索時：日付選択 録画再生時：音量ダウン ※本機では音量ダウンは未対応です。
早送り ▶▶	メニュー画面：設定変更 録画再生時：倍速再生（再生時）、コマ送り（一時停止時） 録画検索時：ファイル選択
早戻し ◀◀	メニュー画面：設定変更 録画再生時：倍速逆再生（再生時）、1 秒戻し（一時停止時） 録画検索時：ファイル選択

10-1 起 動

(1) 電源 ON の 5 秒後にシステムが立上り、ステータス LED が点滅しますので SD カードを挿入して下さい。

〔注〕 **SD カードが書き込み禁止になっていないか確認して挿入して下さい。**

〔注〕 **SD カードが FAT32 でフォーマットされていない場合には、以下の手順でフォーマットしてください。**

フォーマットされてない場合は、左図の画面が表示されます。リモートコントローラの**"MENU ENTER"**ボタンを押すとフォーマットが開始されます。

フォーマットが開始されるとサブメニューが表示されます。
(ステータス LED は点滅。)
この画面が消えてライブ画面に戻ると完了です。

〔注〕 **フォーマット中は SD カードを抜かないで下さい。 SD カードが故障する恐れがあります。**

(2) SD カードが本レコーダに認識されるとステータス LED が点灯に変わり、初期状態では、自動で常時録画が開始されます。 ステータス LED が点滅し続けている場合は、カードの挿入状態を確認して下さい。

(3) 電源が OFF され、再度電源が ON された場合は、自動で電源 OFF 前の録画モードで録画を開始します。

(4) 下記手順で、リモートコントローラのキーロック及び解除が行えます。
ロック:**"ESC"**、**"ESC"**、**"OSD"**　　解除:**"OSD"**、**"OSD"**、**"ESC**

〔注〕 **録画中や初期化中に SD カードを抜かないで下さい。 (録画停止状態で SD カードを抜いて下さい。)**
メインメニューを表示させると録画を停止できます。

〔注〕 **64GB、128Gに対応している SDXC カードのフォーマットは本機で行ってください。**
購入直後の製品を使用する場合や WINDOWS PC 等で FAT32 形式以外でフォーマットした場合は、
ファイルシステムエラーが表示されますので、本機でフォーマットして使用してください。

10-2 ライブモニタ

図 2. ライブ画面

(1) システムが立ち上がると自動でライブモードになります。

(2) **"OSD"**ボタンを押すと現在の時刻表示及びタスクバーの表示、非表示を切り替える事ができます。

(3) タスクバーの内容を下記に示します。

表 2.タスクバー機能一覧

録画状態	：録画中。 この表示が無い時は、録画が停止しています。
録画モード	：常時録画　　：イベント録画（モーション） ：手動録画　　：イベント録画（センサ） 設定よってマークが変わります。
録画解像度	720/480 ：720x480ピクセル時　360/240 ：360x240ピクセル時 設定よってマークが変わります。
録画画質	HQ ：最高画質　NQ ：高画質　BQ ：標準画質 設定よってマークが変わります。
録音	：録音　　：録音しない 設定よってマークが変わります。※本機では音声録音は対応しておりません。
SDカード状態	：SDカード正常　　：SDカード異常または、未挿入
上書き録画	：上書き録画中　94% ：上書き録画停止中（SDカードの残量表示）
ロック	：ロック中。 この表示が無い時は、ロックが解除しています。

10-3 設 定

ライブ画面で**"MENU ENTER"**ボタン押すとメインメニューが表示されます。 設定は値を変更した後、すぐに反映されます。設定画面からライブ画面に戻るには**"ESC"**ボタンを押します。 初期録画設定から変更しない場合は、設定は不要です。

10-4 録 画

本レコーダには、4つの録画モード（常時、イベント、スケジュール、手動）が有ります。 常時とイベント録画は、同時に使用する事により、録画品質を分けて録画時間を節約する事が可能です。 図 3 の**"録画設定"**を選択し、**"MENU ENTER"**ボタン押すとサブメニューが表示されるので、それぞれの録画モードの設定を行います。

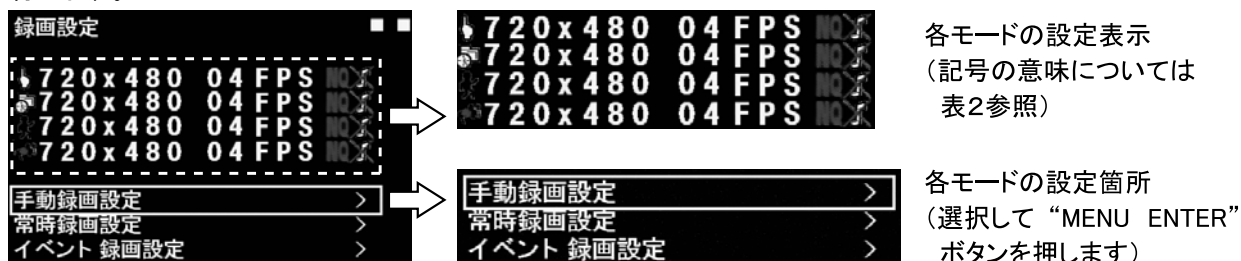



図 3.サブメニュー(録画設定)

設定項目の解像度、フレームレート、画質及び音声設定については、全録画モード共通です。

解像度　：720x480, 360x240 から選択
フレームレート　：1, 2, 4, 7,10, 15, 20, 30fps から選択
画質　：最高、高、標準から選択（画質は最高>高>標準）

〔注〕 **メインメニューや録画再生している期間は、録画が停止していますので、注意して下さい。**
ステータス LED が消灯します。

(1) 常時録画

常時録画設定
常時録画　：ON
解像度　：720x480
フレームレート　：04 FPS
画質　：高
音声　：OFF

図 4.サブメニュー(常時録画設定)

システムが起動した後、自動で録画を開始し、
電源 OFF されるまで継続します。
スケジュール録画を行う時は、常時録画を
OFF にします。

(2)　イベント録画

センサ検知で録画を開始し、イベント前記録時間及びイベント後記録時間で設定した期間録画を行います。
モーションとセンサ両方を検知して、録画する設定も可能。 スケジュール録画を行う時は、両方をOFFにします。

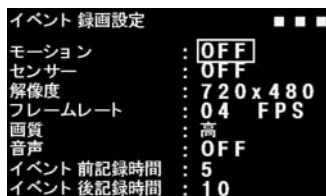



図 5.サブメニュー(イベント録画設定)

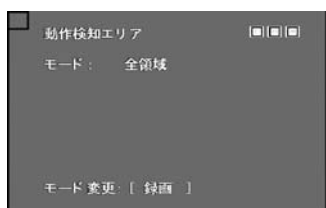
イベント前記録時間　:　イベントが発生する直前の記録時間です。
0〜10 秒の範囲で設定可能です。

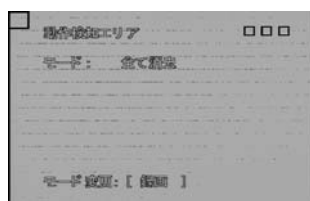
イベント後記録時間　:　イベントが発生した直後の記録時間です。
5〜90 秒の範囲を 5 秒単位で設定可能です。

(a)　モーション

モーション範囲や感度は、メインメニュー **"動作検知設定"**の**"エリア設定" "感度設定"**で行います。

図 6.サブメニュー(動作検知設定)

①　エリア設定

全領域選択時

オレンジ色で表示されている箇所は、モーションを検知するエリアです。

全領域未選択時

灰色で表示されている箇所は、モーションを検知しないエリアです。

図 7.サブメニュー(動作検知エリア)

範囲選択のモードは以下の種類で、**"録画"**ボタンで切り替え、**"MENU　ENTER"**ボタンで決定します。

全領域　:　全領域をモーション検知領域として設定します。

セル編集　:　セル単位で検知領域を設定します。

ブロック消去　:　検知領域からブロック単位で検知領域を削除します。 **"MENU　ENTER"**ボタンを押すと検知領域が青く表示されるので、範囲を選択し、**"MENU　ENTER"**ボタンを再度押して削除します。

全て消去　:　検知領域をすべて削除します。

ブロック追加　:　未検知領域にブロック単位で検知領域を追加します。

②　感度設定

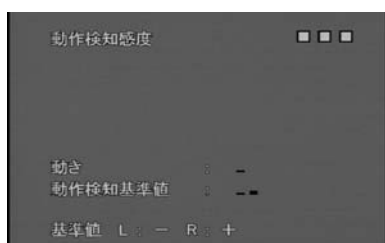



図 8.サブメニュー(動作検知設定)

モーションを検知する感度を設定することができます。
動きに現在の動きの大きさがリアルタイムに表示されます。
動作検知基準値は、モーションを検知するレベルを表しており、
動きが**動作検知基準値**を超えた時、イベント録画(モーション)
されます。 動きは大きくなるほど目盛りが多く表示され、
動作検知基準値が高くなる(動作検知感度が下がる)
設定ほど目盛りが多く表示されます。

(b)　センサ

センサは、メインメニューで**システム設定**の**アラーム入力**で **N.O.**又は **N.C.**を選択できます。

〔注〕　本レコーダのアラーム入力には、電気信号を印加しないで下さい。

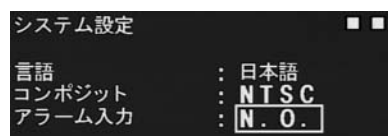



図 9.サブメニュー(システム設定)

N.O.：接点が通常オープン、アラーム時クローズ（初期値）
N.C.：接点が通常クローズ、アラーム時オープン
〔注〕　言語、コンポジットは変更しないで下さい。

(3) スケジュール

図 10.サブメニュー(スケジュール録画設定)

指定した時間内で常時、イベント録画を行います。設定する時刻で録画モードを選択します。**ALL** は、すべての録画モードが有効になる設定です。

〔注〕　常時、イベント録画を **OFF** に設定しないと設定項目が表示されません。

(4)　手動録画

リモートコントローラの**"録画"**ボタンを押すと録画モードに関わらず、すぐに録画が開始します。
手動録画を終了するには、手動録画中に**"ESC"**ボタンを押します。

10-5 日　時

日時を調整する事ができます。 メインメニューの**日時設定**を選択し、**"MENU　ENTER"**ボタン押すと、図 11 のサブメニューが表示されるので、日時や表示形式の設定を行います。

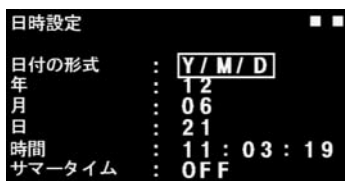



図 11.サブメニュー(日時設定)

日付の形式　：Y(年)/M(月)/D(日)、D/M/Y、M/D/Y　から選択可能。
年　：西暦で入力します。 月：月　、日：日を入力します。
時間　：時間を入力します。 時間：分：秒。
サマータイム　：OFF で使用します。 **※変更しないで下さい。**

10-6 SDカードオプション

録画ファイルサイズの最大値、上書き設定及びフォーマットを行う事ができます。 メインメニューの**SD カードオプション** を選択し、**"MENU　ENTER"**ボタン押すとサブメニューが表示されるので、上記設定を行います。また、ディスク残り容量も確認する事ができます。

ディスク容量　：SDカードの全体容量
ディスク残り容量：SDカードの残り容量

図 12.サブメニュー(SD カードオプション)

(1)　最大ファイルサイズ

録画ファイルサイズの最大値を設定します。 3, 10, 20, 50, 100MB から選択します。（初期値：100MB）
ファイルサイズを小さくすると録画ファイルの数が多くなります。

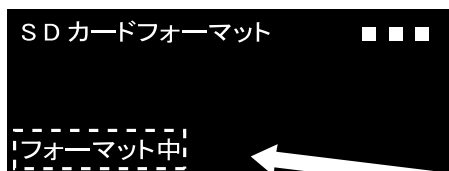
(2)　カードフル

SD カードの残り容量が無くなった時の動作を設定します。 上書き、停止から選択します。（初期値：上書き）

〔注〕　停止を選択すると SD カードの残り容量が無くなった時点で録画を停止しますので、通常は上書きのままご使用下さい。

(3) フォーマット

図 13.サブメニュー(SD カードフォーマット)

SD カードをフォーマットする事ができます。 図 12 でフォーマットを選択し、**“MENU ENTER”**ボタンを押すとサブメニューが表示されるので、フォーマットする場合は、**“MENU ENTER”**ボタンを、キャンセルする場合は、**“ESC”**ボタンを押します。フォーマットが開始されると図 13 のサブメニューが表示されます(ステータス LED は点滅)。 この画面が消えて図 12 に戻ると完了です。

フォーマット中

サブメニュー(SD カードフォーマット)

〔注〕フォーマット中は **SD** カードを抜かないで下さい。
SD カードが故障する恐れがあります。

10-7 再　生(本体)

録画データをレコーダ本体で再生する事が可能です。 簡易再生と検索再生があります。

〔注〕再生中は、録画が停止します。

ここに再生の状態が表示されます。

- ▶ ： 再生(**“再生・一時停止”**ボタンを押します)
- ▶▶ 2X ： 早送り(x2/ x4/ x8/ x16/ x32) (**“早送り”**ボタンを押します)
- ◀◀ 2X ： 早戻り(x2/ x4/ x8/ x16/ x32) (**“早戻り”**ボタンを押します)
- ▶▶| ： コマ送り(一時停止中に**“早送り”**ボタンを押します)
- |◀◀ ： コマ戻し(1秒戻し)(一時停止中に**“早戻り”**ボタンを押します)
- ❚❚ ： 一時停止(再生中に**“再生・一時停止”**ボタンを押します)

ボタンについては、**10. リモートコントローラ**の表1を参照して下さい。

図 14.再生画面

10-8 簡易再生

ライブ画面で**“再生・一時停止”**ボタンを押すと最終録画ファイルが自動で再生されます。 ファイルの再生が終わると一番古い録画ファイルから順次自動で再生されます。 再生を終了するには、**“ESC”**ボタンを押します。

10-9 検索再生

検索再生は、ライブ画面で**“MENU ENTER”**ボタンを押し、メインメニューを表示し**検索/再生**を選択します。表示された**検索/再生**サブメニューで録画ファイルの日付や時間を選択します。 **“MENU ENTER”**ボタンを押し再生します。再生を終了するには、**“ESC”**ボタンを押します。

図 15.検索再生画面

5 日以上は次のページになります。現在のページ/合計ページ数です。

〔注〕ファイル数ではありません。

ライブ画面で**“MENU　ENTER”**ボタンを押すとメインメニューが表示されます。 検索/再生に合わせて**“MENU　ENTER”**ボタンを押します。 検索/再生サブメニューが表示されるので、再生を開始する録画ファイルを選択し、**“MENU　ENTER”**ボタンを押して再生を開始します。 日付毎に格納させている録画ファイル数が表示されます。▲▼ボタンで再生したい日付を選択します。

選択している日付のファイルが表示されます。 1 ファイルずつ移動する時は、⏩⏪ ボタンを 10 ファイルずつ移動する時は、● OSD ボタンを押します。

検索/再生画面の記号は、下記を示します。

: 常時録画データ　　: 手動録画データ　　: モーション録画データ

: センサ録画データ　 : イベント前録画データ

10-10 パスワードプロテクトの設定（オプション）

SD カードに記録した録画ファイルを PC で再生する際に、特定のユーザーしか再生出来ないように 4 桁のパスワードを設定できます。（パスワードを設定しない場合は、誰でも再生する事が出来ます。）パスワードの設定方法は、メインメニューの**システム設定**を選択し、**“MENU　ENTER”**ボタン押すと、図 16 のサブメニューが表示されるので、▲▼ボタンで**パスワード**の項目を選択します。 ⏩⏪ボタンで、希望する数値に設定します。 同様に、▲▼ボタンで次の桁を選択し、⏩⏪ボタンで数値を設定します。パスワードを設定した場合は、PC 再生の際、そのパスワードが必要となります。初期値の[0000]はパスワード未設定でプロテクトが掛かっていない状態です。

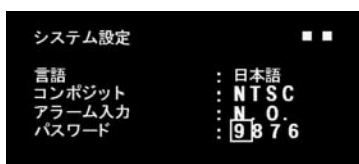
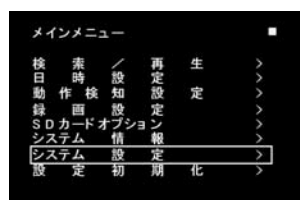
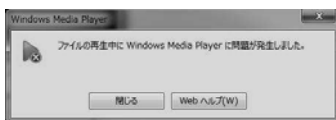



図 16 パスワード

〔注〕 SDカード内の録画データを直接またはPCにコピーし、CDやDVDに書き込んだ後にそのCDやDVDを再生する場合、FileListerを起動してパスワードを入力しても左メッセージが表示されWindowsMediaPlayerでは再生できません。パスワードを設定していない(0000のまま)場合は問題無く再生できます。SDカードやUSBメモリにコピーしたデータは問題なく再生できます。

10-11 PC で再生の場合

SD カードリーダ付きの Windows PC で録画ファイルを再生する事ができます。SD カードを本機から抜く場合は、メインメニューを表示して録画停止した状態（LED 消灯）で行ってください。

録画ファイル名には下記規則が有ります。

西暦, 月, 日 - 時間, 分, 秒, 録画された時の録画モード

録画モードは、**MA**:手動、 **MO**:イベント（モーション）、 **AL**:イベント（センサ）、**PA**:イベント前録画、 **CO**:常時

(例:20120621-201125CO 常時録画モードで録画された 2012 年、6 月 21 日、20 時 11 分 25 秒のデータ)

A. パスワードプロテクトを設定していない場合

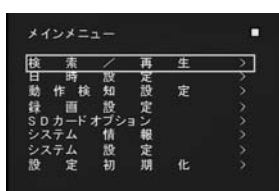
(1) 準備 SD カードを本レコーダから抜く為に録画を停止します。
ライブ画面で**“MENU　ENTER”**ボタンを押し、メインメニュー画面を表示すると録画が停止します。

メインメニューが表示されている時、録画停止状態です。

図 17. 録画停止

(2) カメラ前面のステータス LED が消灯している事を確認して本レコーダから SD カードを抜きます。

(3) SD カードを PC の SD カードリーダに挿入します。

(4) SD カード内の録画フォルダ（DVH264）を開き、再生を行うファイルをクリックすると Windows PC の Windows Media Player で再生されます。

B. パスワードプロテクトを設定している場合

パスワードプロテクトを設定した録画ファイルはそのままでは PC の Windows Media Player では再生する事が出来ないため、専用のソフトウェア（FileLister）を使用する必要があります。 FileLister の入手に関しましては、弊社営業までお問い合わせください。

上記 **A.(1)～(3)**の操作を行い、SD カードを PC の SD カードリーダに挿入します。

(4) 使用されている PC の Windows OS の 32bit 又は 64bit に合わせて、FileLister32.exe 又は、FileLister64.exe を起動します。

(5) SD カード内の録画フォルダ（DVH264）を開きます。 データが多い場合は、全ファイルが表示されるまでに数十秒かかりますのでしばらく待ちます。

図 17. FileLister 起動画面

(6) 再生を行うファイルを選択して[再生]ボタンをクリックします。

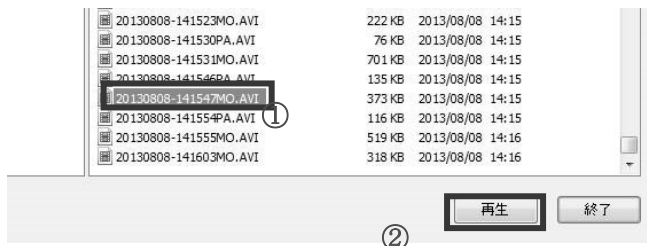



図 18. 再生ファイル選択

(7) パスワードチェックの入力画面が表示されますので、パスワードを入力し[再生]ボタンをクリックします。[すべてのファイルに適用]にチェックを入れるとファイル選択時にすべてのファイルにこのパスワードが適用されますので、1 回 1 回パスワードを入力する必要がなくなります。

図 19. パスワード入力画面

10-12 アラーム出力（モーション検知信号出力）

設定している録画モードに関らず、画面に動きがあった時(モーション検知時)アラームを出力します。
検出範囲及び感度は、「動作検知設定」で設定します。 P.17 (2)イベント録画 (a)モーションを参照して下さい。

オープンコレクタ出力で、**モーション検知時**：L　**モーション未検知時**：Hi-Z となります。
アラーム出力端子に DC30V より大きい電圧を印加しないで下さい。 また、アラーム出力端子に 50mA より大きい電流が流れないように接続して下さい。

10-13 初期化

本レコーダを初期設定に戻す事ができます。ただし、日時設定は初期化されません。図 20 のメインメニューで **設定初期化** を選択し、設定初期化のサブメニューを表示した状態で、**“MENU ENTER”** ボタンを押すと設定が初期化されメインメニュー画面に戻ります。キャンセルする場合は**“ESC”**ボタンを押します。

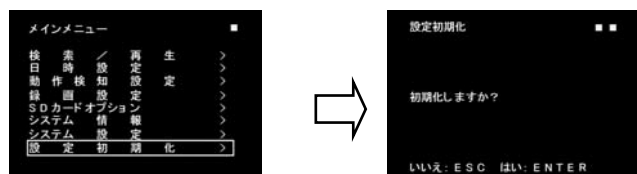



図 20. 設定初期化

10-14 情 報

本レコーダのシステム情報を確認する事ができます。〔注〕この項目では、設定は行えません。

図 21. システム情報

バージョン	ソフトウェアのバージョンを示しています。
SDカードフル	SDカードの上書き状態を示します。
録画設定一覧	：常時録画の設定一覧行　：イベント録画（モーション）の設定一覧行 ：手動録画の設定一覧行　：イベント録画（センサ）の設定一覧行
解像度	720 x 480、360 x 240
フレームレート	1、2、4、7、10、15、20、30 fps
画質	HQ ：最高画質　NQ ：高画質　BQ ：標準画質
録音	：録音　：録音しない　※本機では音声録音は対応しておりません。

■ 録画時間目安表

SDカード　32GB使用時の録画目安表（単位：時間）

解像度	画質	フレームレート(fps)							
		30	20	15	10	7	4	2	1
720x480	最高	24	43	72	98	119	170	175	180
	高	36	65	108	147	193	255	263	270
	標準	54	97	162	221	289	383	394	405
360x240	最高	43	77	130	176	215	306	315	324
	高	56	101	168	229	279	398	410	421
	標準	73	131	219	298	364	517	532	548

SDカード　64GB使用時の録画目安表（単位：時間）

解像度	画質	フレームレート(fps)							
		30	20	15	10	7	4	2	1
720x480	最高	46	83	138	188	229	327	336	346
	高	69	124	208	283	372	490	504	519
	標準	104	186	311	424	556	735	757	778
360x240	最高	83	149	249	339	413	588	605	623
	高	108	193	324	441	536	765	787	809
	標準	140	251	421	573	700	994	1023	1052

SDカード　128GB使用時の録画目安表（単位：時間）

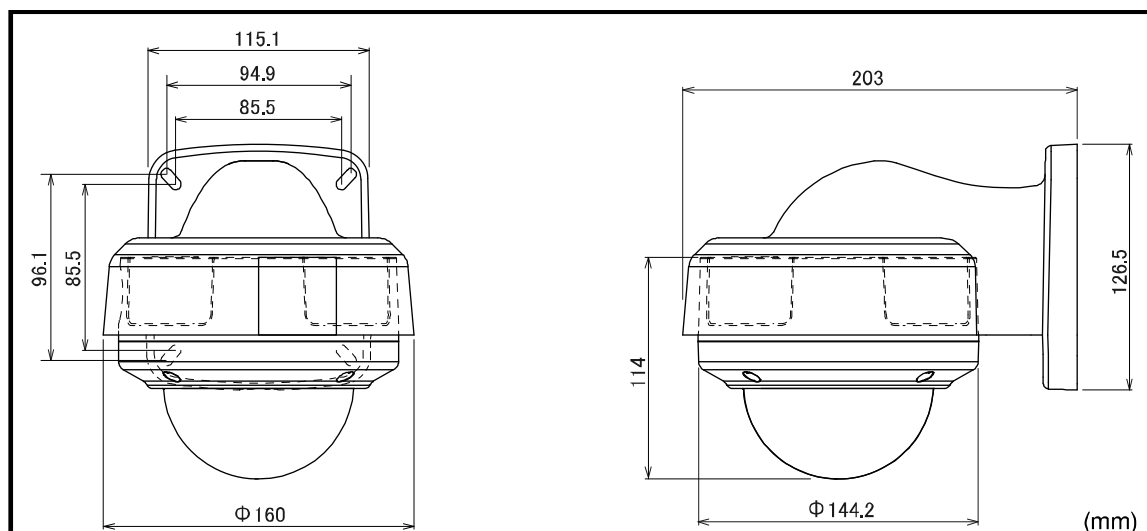
解像度	画質	フレームレート(fps)							
		30	20	15	10	7	4	2	1
720x480	最高	95	171	286	389	472	674	694	714
	高	143	256	428	583	767	1011	1041	1071
	標準	214	384	642	874	1146	1517	1562	1606
360x240	最高	171	307	514	700	851	1214	1249	1285
	高	223	399	668	909	1105	1578	1624	1670
	標準	290	519	869	1182	1443	2051	2111	2172

※　録画できるファイル数は 90,112 ファイルが上限となります。

※　上記表は目安です。被写体の状態により、録画できる時間は変動します。

■ 工場初期値、出荷時設定一覧

番号	機　　　能	工場初期値	出荷時設定
● メインメニュー			
1	レンズ	DC	DC
2-1	露出⇒シャッター	AUTO	AUTO
2-2	露出⇒AGC	HIGH	HIGH
2-3	露出⇒SENSUP	AUTO	AUTO
2-3	露出⇒SENSUP⇒AUTO	X8	X8
3	BACKLIGHT	OFF	OFF
4	ホワイト・バランス	自動追尾型	自動追尾型
5	デイ・ナイト	カラー	カラー
5-1	デイ・ナイト⇒DELAY	1	1
5-2	デイ・ナイト⇒D→N(AGC)	210	210
5-3	デイ・ナイト⇒N→D(AGC)	40	40
6	SMART 3DNR	ON	ON
6	SMART 3DNR⇒ON VALUE、SMART NR、SMART LEVEL、SENSITIVITY	80、ON、200、40	80、ON、200、40
7	F-DNR	OFF	OFF
8-1	FUNCTION⇒ﾓｰｼｮﾝ	OFF	OFF
8-2	FUNCTION⇒ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ	OFF	OFF
8-3	FUNCTION⇒D-EFFECT⇒DIS	OFF	OFF
8-3	FUNCTION⇒D-EFFECT⇒ﾐﾗｰ	OFF	OFF
8-3	FUNCTION⇒D-EFFECT⇒ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞｲﾒｰｼﾞ	OFF	OFF
8-4	FUNCTION⇒調整⇒ｼｬｰﾌﾟ	20	20
8-4	FUNCTION⇒調整⇒MONITOR	CRT	CRT
8-4	FUNCTION⇒調整⇒MONITOR⇒CRT PED LEVEL、COLOR LEVEL	28,128	28,128
8-4	FUNCTION⇒調整⇒LENS SHARDING	OFF	OFF
8-4	FUNCTION⇒調整⇒DEFECT SENSUP, DIFF, THRESHOLD	×8, 1, 3	×8, 1, 3
8-5	FUNCTION⇒COMM ADJ⇒ｶﾒﾗﾀｲﾄﾙ	OFF	OFF
8-5	FUNCTION⇒COMM ADJ⇒PROTOCOL	PELCO-D	PELCO-D
8-5	FUNCTION⇒COMM ADJ⇒RS485 ｶﾒﾗID, ID表示, 通信速度	1, OFF, 9600	1, OFF, 9600
8-6	FUNCTION⇒SYNC	INT	INT
8-7	FUNCTION⇒言語	日本語	日本語

■ 外形図

■ テクニカルサポート

● お問合せ先

株式会社ダイワインダストリ

TEL/03-3755-5645 FAX/03-3755-2253

E-mail info@daiwa-industry.co.jp

● 受付時間

平日(月～金) 9:00～12:00/13:00～17:00

土、日、祝日は除く

株式会社ダイワインダストリ

本社・企画営業本部

〒146-0082 東京都大田区池上 3-36-6 TEL/03-3755-5645 FAX/03-3755-2253

URL http://www.daiwa-industry.co.jp

201405

■ 保証書

きりとり

- -

購入日	年　月　日
モデル	SD-380V
お客様	ご住所 お名前 電話
販売店	店名・住所

保　証　書

1: 保証期間はお買い上げ月日より１年です。

2: 修理はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお出し下さい。尚、本保証書の提示がない場合及び下記の場合の修理は有料となります。

- 使用方法の誤り、または乱用による故障。
- 不当な修理、改造、分解掃除等による故障。
- 天災（落雷、火災）による故障及び損傷。

3: 本製品は盗難防止器具、火災防止器具ではありません。本製品の正常・異常にかかわらず犯罪や事故が発生した場合の損害については当社は一切責任を負いません。

4: 本器の故障のために生じた２次的な事故は、保証いたし兼ねます。

5: 本製品の設置 (取り付け・取りはずし) などにより生じた建物等への損傷やその他の損害について当社は、一切責任を負いません。

株式会社ダイワインダストリ

■本社サービス 東京都大田区池上3-36-6

〒146-0082 TEL:03-3755-5645(代)　FAX :03-3755-2253